

川崎中学校、河川パトロールを行う!

川崎中学校は自然や環境に興味を持ち、普段から意識していた疑問や問題に対して、体験活動を通して解決を図る取り組みを行っています。今回、一関出張所でも体験活動をしたいというご要望を受け、一関出張所では地元・北上川の現状を知ってもらい、また川に親んでもらうため、調査船による河川パトロールに臨んでもらいました。



↑ 調査員の任命を受け北上川は私たちが守ります。

台風4号が過ぎ去った6月21日、台風後ということもあり、普段より北上川の水位は高くなっていましたが、流れは穏やかで初夏の風が船の上を爽やかに吹き抜けます。

船は水上を力強く進んでいましたが、時折、水面のゴミを船のエンジンが吸い込むたび、推進力が落ち、ガクッとスピードが落ちます。ゴミのせいと分かると「川からゴミが無くなればいいのに」と残念そうに話していました。

水辺にアオサギが降りると皆さん歓声を上げて観察していました。鳥や魚に興味を持っている方が多く、「北上川に生息する魚類の数はどのくらいですか」という質問がありました。



↑ 爽やかな風に吹かれて気分も爽快。

北上川の魚

北上川に生息する魚は、これまでの調査により52種類が確認されています。これは河口付近に棲む汽水生のボラやスズキ、海水生のヒラメやサバなども含まれています。さらに海から川に遡上するサケやマス類があります。

一関地域は中流部に当たりますが、多く見られる魚はウグイ、ニゴイ、ギンブナ、オイカワ、アユ、アブラハヤ、アユまた珍しいもので

モツゴ、タイリクバラタナゴ、ギバチ、トウヨシノボリ、ブラックバスも見つかりました。特にギバチは環境省レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類に当たります。



↑ ナマズの仲間ギバチ

人間だけでなく、魚や鳥にとっても大事な北上川の環境を、私たちは大切に守っていく必要があります。